

会社概要

会社名 株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン  
代表取締役社長 渡辺幸子  
会長 アキよしかわ  
本店所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目 27 - 30 新宿イーストサイドスクエア 5F  
TEL 03-6380-2401(代表)  
FAX 03-6380-2402  
URL <https://www.ghc-j.com/>  
MAIL [info@ghc-j.com](mailto:info@ghc-j.com)



website



共に創り、共に歩む

Leap to the Future



# あした 未来を創造する、医療の現場から

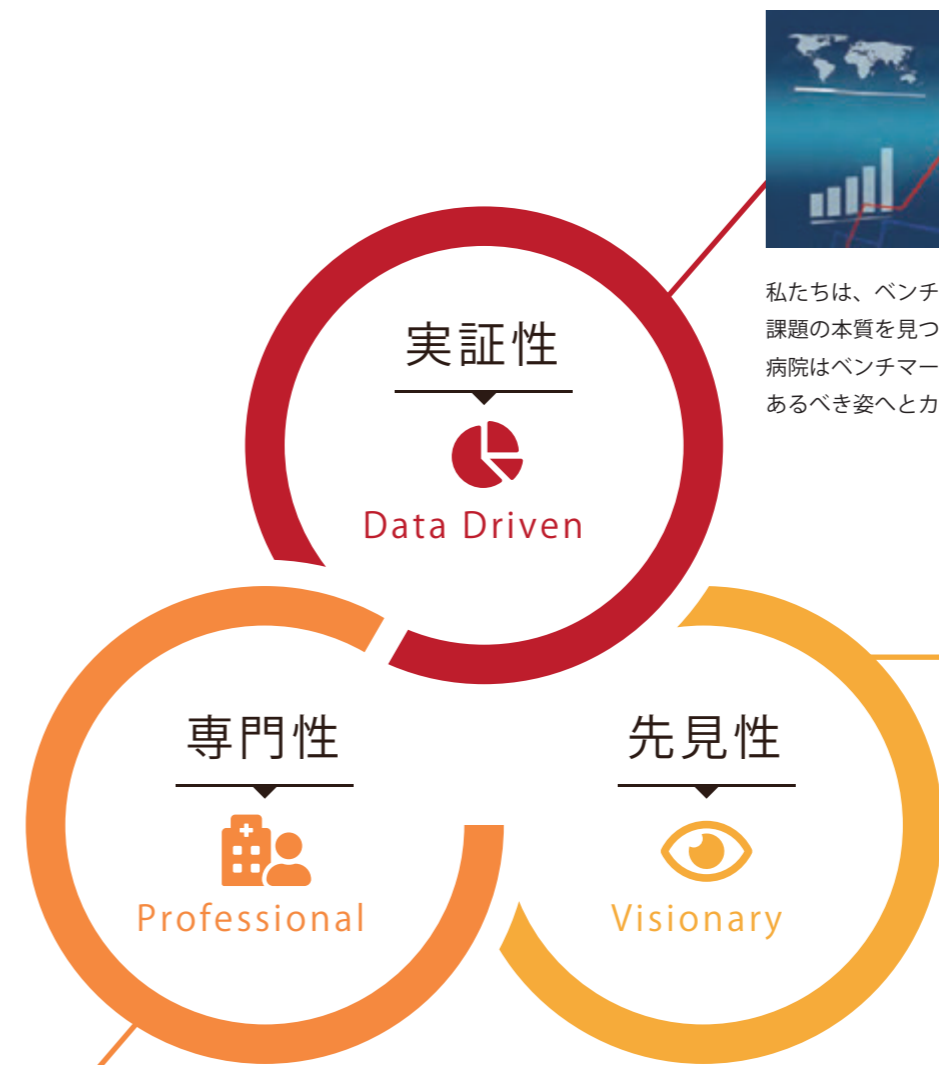
Leap to the Future

## あした 医療機関が地域の「未来」をまもるため

## 私たちはカイゼンを超えた

## 「Leap (= 飛躍)」を支援します。

経営にかかわる膨大なデータを徹底的に分析し(実証性)、  
医療政策の先をよみ(先見性)、  
現場の医療スタッフと共に汗を流し(専門性)、  
医療現場から病院を、地域を、そして日本を変えていくお手伝いをします。



私たちは、ベンチマークを起点とした「実証分析」で課題の本質を見つけ可視化します。  
病院はベンチマークによる自院の「立ち位置」から、あるべき姿へとカイゼンを進めることができます。



「変化はコントロールできない。できることは、その先頭に立つことだけである」  
(経営学の父 ドラッカー)  
私たちは、患者、病院、地域、国と共に求められる医療と向き合うことで、未知の困難を切り拓きます。



私たちは、医師、看護師、薬剤師などで構成される医療の現場を知るコンサルタントとして、医療現場の当事者意識でカイゼンと向き合う「実行支援型のサービス」を提供します。

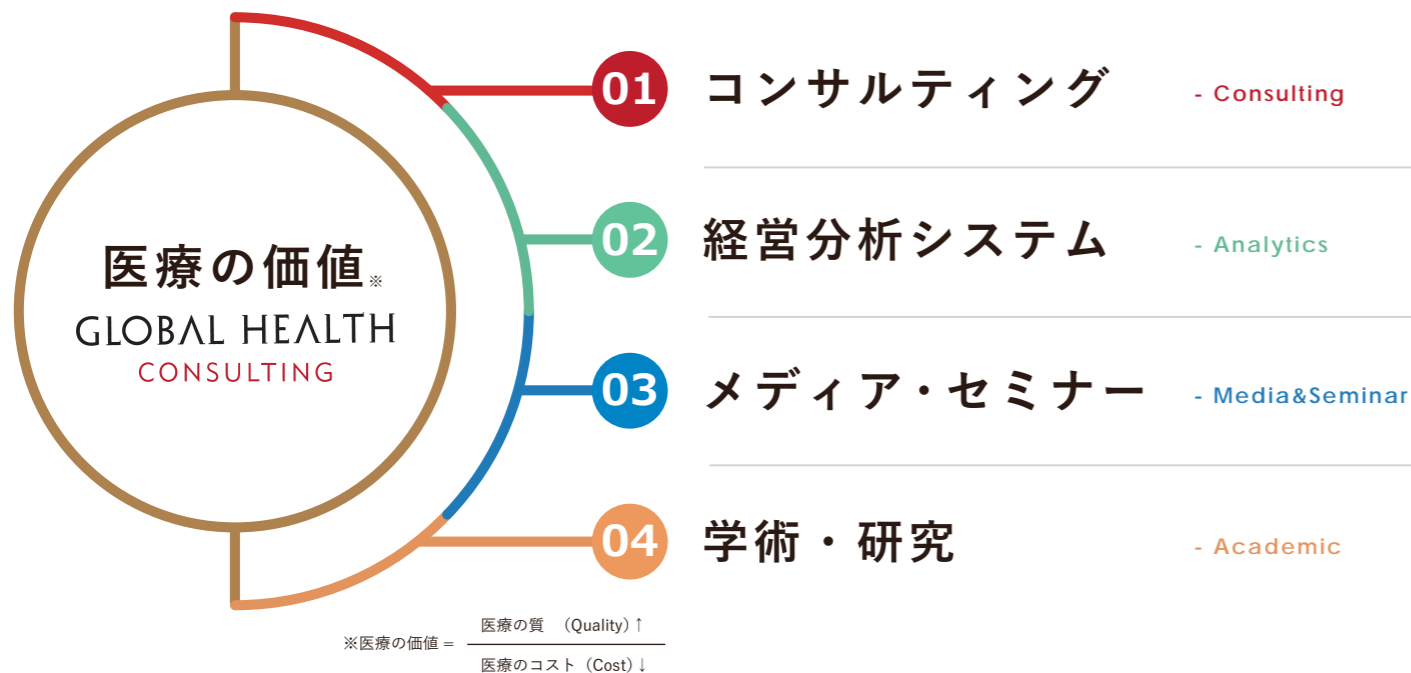




## 急性期病院の 「医療の価値<sup>※</sup>」を向上させる 4つの事業



実証性、専門性、先見性に基づく4つの主力事業で急性期病院の「医療の価値」を向上させます



医療の現場を熟知したコンサルタントによる  
医療ビッグデータを駆使した実行支援型のコンサルティング

コンサルティングノウハウを凝縮させた経営分析システム

政策と病院経営に特化したメディア・セミナー

国内外の最新情報に基づく学術研究

大学病院から民間病院まで  
多様なクライアントを支援

主に地域の基幹病院を  
サポートしています

Leap (飛躍) する実行支援型  
コンサルティング

基幹病院の支援を  
経営分析システムでも

精度の高い分析を実現する  
膨大なベンチマーク数

病院経営のプロが  
認めるメディア

クライアント数

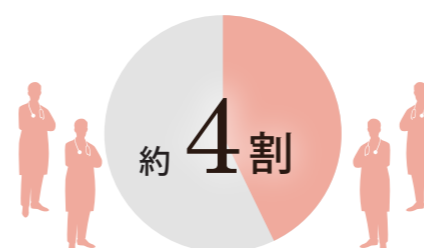
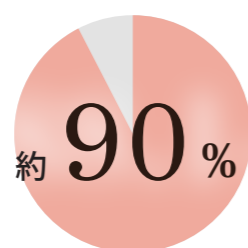
200床以上の  
クライアント数の割合

年間最大増収金額

「病院ダッシュボード<sup>(カイ)</sup>」  
高度急性期病院の導入率

ベンチマーク対象病院数

「Gem Med」の閲覧数



※高度急性期病院は DPC 特定病院群のことを指す



## 進化し続けるベンチマーク分析

<https://www.ghc-j.com/science/>



GHCは、米国流の病院経営改善の実践的な手法である「ベンチマーク」を日本に初めて導入しました。めまぐるしく変わる医療環境の未来をみすえ、病院の経営に資する革新的なサービスの開発と提供に努め進化し続けます。コンサルティングサービスでは、経営課題に応じた最適なサービスを提供します。

**課題** 地域医療構想下のビジョン・戦略の策定

**サービスメニュー**

- ✓ 病床機能戦略（病床機能分化）
- ✓ 病院統合再編
- ✓ 病院の働き方改革
- ✓ 「公立病院経営強化プラン」策定支援

01

**課題** 急性期機能向上

**サービスメニュー**

- ✓ DPC 特定病院群（基礎係数対策）
- ✓ 医療・看護必要度の重症度割合適正化

02

**課題** 増収対策

**サービスメニュー**

- ✓ 戦略的集患（DPC 病院の地域連携）
- ✓ チーム医療向上（加算対策）
- ✓ 手術室効率化

03

**課題** 患者フロー最適化による医療の質向上と業務効率化

**サービスメニュー**

- ✓ クリニカルパス作成・見直し
- ✓ PFM（入院サポートセンター開設・支援等）
- ✓ 適正な病床機能の運営（ベッドコントロール）

04

**課題** コスト削減

**サービスメニュー**

- ✓ 医療材料コスト削減
- ✓ 委託コスト削減

CASE STUDY

- ・名古屋第二赤十字病院
- ・諏訪中央病院
- ・津島市民病院など

05

**課題** 人材の育成・組織強化

**サービスメニュー**

- ✓ 病院のマネジメント人材の育成支援（経営分析トレーニング）
- ✓ 病院経営の戦略組織構築（経営戦略室の立ち上げ）

06

社会福祉法人 恩賜財団 済生会 滋賀県病院

滋賀県東海市  
病床数 393 床  
契約開始年 2017 年

滋賀県済生会医療福祉センター総長 済生会滋賀県病院 院長 三木恒治 先生

**ご活用サービス** 病院統合再編等

- ・再建断念された赤字の公立病院との再編統合に成功 3 か月で単月黒字化を実現
- ・再編統合と地域連携の推進で重症患者割合向上 後方支援病院への転院数倍増
- ・入退院支援センター機能を強化、複数の関連加算で年換算 850 万円の収益増を達成

**ポイント & 効果**

鳥取大学医学部 附属病院

鳥取県米子市  
病床数 697 床  
契約開始年 2018 年

鳥取大学医学部附属病院 院長 原田省 先生

**ご活用サービス** 組織強化 PFM（入院サポートセンター開設・支援等）等

- ・縦割り構造を打破し、業務の見える化を通して課題発見と改善活動を推進
- ・チーム医療の強化により、入院医療の外来化を促し 業務効率と収益が向上
- ・大小さまざまな案件でアクションできる組織へ変容

**ポイント & 効果**

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院

長野県松本市  
病床数 460 床  
契約開始年 2003 年

相澤病院 最高経営責任者 相澤孝夫 先生

**ご活用サービス** 医療・看護必要度の重症度割合最適化 クリニカルパス作成・見直し等

- ・看護必要度評価を段階的に確認できる仕組みを構築し、看護必要度の精度が格段に向上
- ・看護必要度データとDPCデータとの一致率が短期間で大幅改善
- ・定期的に看護必要度を見える化しチェックすることで看護必要度の精度を維持

**ポイント & 効果**

小牧市民病院

愛知県小牧市  
病床数 520 床  
契約開始年 2007 年

小牧市病院 事業管理者 末永裕之 先生

**ご活用サービス** PFM（入院サポートセンター開設・支援等） クリニカルパス作成・見直し等

- ・年間約 4 億円の改善効果を達成
- ・1 年間で入院期間 II 超の患者が 5% 減少
- ・急性期機能を充実させ、1 日単価 7000 円向上

**ポイント & 効果**

社会福祉法人 恩賜財団 福岡県済生会 福岡総合病院

福岡県福岡市  
病床数 380 床  
契約開始年 2008 年

福岡県済生会 福岡総合病院 総長・名誉院長 阿留健一郎 先生

**ご活用サービス** 戦略的集患 手術室効率化等

- ・データ分析で手術室の稼働率 80%
- ・地域連携の強化で紹介率 81.5%
- ・救命救急隊と関係再構築、対応病床 62 床

**ポイント & 効果**

日本赤十字社 姫路赤十字病院

兵庫県姫路市  
病床数 560 床  
契約開始年 2006 年

姫路赤十字病院 院長 佐藤四三 先生

**ご活用サービス** PFM（入院サポートセンター開設・支援等） DPC 特定病院群（基礎係数対策）等

- ・DPC 特定病院群昇格・維持
- ・入退院支援センター設立
- ・外来単価がトップクラス

**ポイント & 効果**

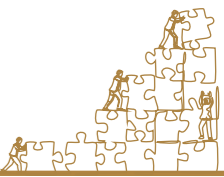
※【ご活用サービス】には、PS にあります当社のコンサルティングサービスのなかでご利用された「サービスメニュー名」が記載してあります。 ※各病院がご利用されたコンサルティングサービスを、【ご活用サービス】に記載していない場合もあります。

## 共に Leap (飛躍) してきたクライアント病院

これまで多様な病院のニーズに合った経営改善を実現してきました。コンサルティング初年度から、改善効果を実感していただける病院も数多いです。病院を取り巻く医療環境にあわせたコンサルティングサービスをブラッシュアップしながら提供しつづけた結果、10 年以上、コンサルティング契約を継続していただいている医療機関もあります。

病院の経営カイゼンに役立つ事例を多数掲載！  
<https://www.ghc-j.com/case/>

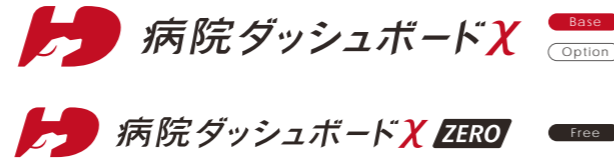




## データとITは医療改革を支える両論

世界最先端の医療を提供する米国の医療改革は、IT革命から始まりました。大量の医療ビッグデータをスピーディーに、エレガントに使いこなすには、ITの存在は欠かせません。GHCではIT技術を駆使し、コンサルティング手法を凝縮させた問題解決型「経営分析システム」を提供しています。

### 高度急性期病院のための<sup>カイ</sup>χ 4割が導入する経営支援サービス



病院経営の課題に無限の<sup>カイ</sup>χ(カイ)をもたらす「病院ダッシュボードχ(カイ)」は、病院経営の専門コンサルティング会社が開発した、経営改善のポイントが瞬時に分かる、多機能型経営分析サービスです。DPC、地域連携、マーケット、レセプト、手術台帳、財務、重症度、医療・看護必要度といった多様なデータとベンチマークデータをもとに、経営状況を可視化し、経営課題の解決までご支援いたします。さらに、課題発見までをサポートする無料プラン「病院ダッシュボードχZERO」も登場。係数分析もできるほか、看護必要度や後発医薬品割合など「厚労省への提出が必要なデータ」も自動で抽出できます。

#### 充実の分析機能

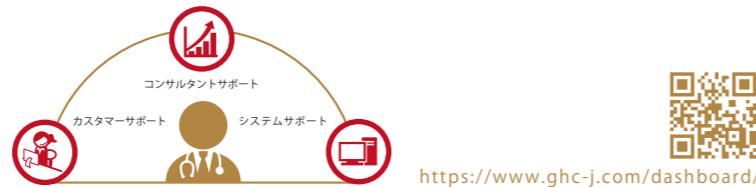
- ✓ コンサルティングノウハウを凝縮
- ✓ 院内情報の可視化
- ✓ 独自のベンチマーク分析



※「病床機能」は、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟向けの分析サービスとER、ICU、HCU向けの分析サービスを提供しています。

#### 使いこなせる環境

- ✓ 充実したサポート体制
- ✓ お客様満足度を追求
- ✓ コンサルタントと連携した支援
- ✓ 経営課題解決型ユーザー会を定期的に開催

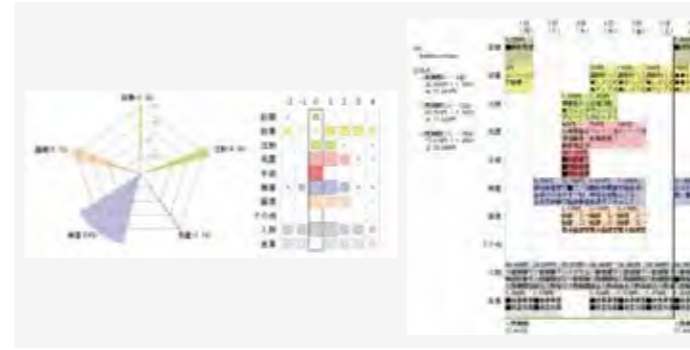


#### 病院ダッシュボードχでLeap(飛躍)した成功者たち

病院名	感想・活用ポイント
1 松坂市民病院	素人でも使いやすい優秀なシステム
2 社会医療法人 生長会 府中病院	DPC II 群へのステップアップに貢献
3 社会福祉法人 恩賜財団 福岡県済生会福岡総合病院	II 群維持に大活躍
4 岩手県立中央病院	無駄のない深い分析へ誘導してくれるツール
5 地方独立行政法人 佐賀県医療センター 好生館	短い分析工数で課題を解決
6 社会医療法人 財団 石心会 埼玉石心会病院	目の前の課題を発見し、将来像を模索
7 社会医療法人 製鉄記念室蘭病院	気がついたら DPC 特定病院群
8 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院聖隷浜松病院	「月間手術件数」過去最高を更新!
9 社会医療法人 宏潤会 大同病院	トップが活躍し院内の経営意識が向上

## DPC分析 ベンチマークシステム

# EVE



日本初のベンチマークシステムの思想を受け継ぎ、DPC対象病院の約半数が導入するDPC分析ベンチマークシステム。さまざまな切り口で重要な経営指標を把握できます。※EVEはMDV社との共同開発商品

<https://www.ghc-j.com/it/>



## 経営と医療の質を見える化する 月刊レポート

# LEAP JOURNAL



【毎月10日配信】

医療現場を知るコンサルタントが、ベンチマーク分析を活用しあらゆる角度から病院経営を分析する、WEB閲覧できる月刊レポートです。「病院ダッシュボードχ」および「EVE」ユーザーは、特典として無料で購読いただけます。

<https://leapjournal.ghc-j.com/>



## 出来高病院向け日本病院会 戦略情報システム

# JHAstis2.0 一般社団法人日本病院会



日本病院会が出来高病院向けに提供している、経営分析レポートです。当社ではシステム開発や、レポートの分析サポートを実施し、主要経営指標や加算算定状況が毎月わかるベンチマーク分析や診療報酬改定情報等の役立つ情報を

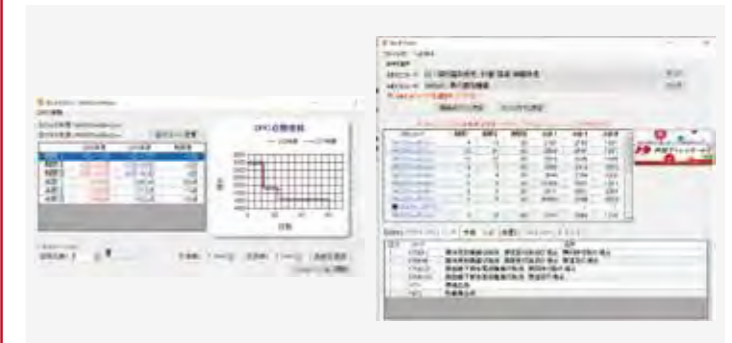
掲載しています。2020年度からはDPCデータも活用し、「JHAstis2.0」として、増患対策や病床機能別分析等も展開するサービスへ、リニューアルしています。

<https://www.hospital.or.jp/jhastis/>



## DPC/PDPS 検索ツール

# 無料DPC検索ソフト ぽんすけ



DPC/PDPSの新・旧制度を比較することができる分析ツール(無償で誰でもご利用いただけます)。非ネット環境でも利用でき、面倒な診療報酬の計算がポンポンできます。

<https://www.ghc-j.com/it/ponsuke/>



## 変化の先頭に立て

病院経営の変化の先頭に立つために必要な情報を、GHCは独自のメディアや各種セミナーを通じて提供します。

### Gem Med



病院経営に携わるすべての人たちに向けて、どこよりも早く、正確で、専門的なニュースをお届けする、医療系ニュースサイト&メールマガジン。



配信日  
 ニュースサイト：毎営業日  
 メールマガジン：週刊（営業日のある週初）

編集主幹  
 鳥海和輝  
<https://gemmed.ghc-j.com/>

### GHC Seminar

国内外のオピニオンリーダーによる講演や、診療報酬改定の最新情報など、多様な切り口で病院経営に有効なセミナーを開催。



<https://www.ghc-j.com/event/>

### 書籍案内

<p>「医療崩壊の真実」                  著者：アキよしかわ 渡辺さちこ 共著                  発行年：2020年                  出版社：エムディエヌコーポレーション</p>	<p>「日米がん格差」                  「医療の質」と「コスト」の経済学                  著者：アキよしかわ                  発行年：2017年                  出版社：講談社</p>	<p>「日本医療クライシス」                  「2025年問題」へのカウントダウンが始まった                  著者：渡辺さちこ                  アキよしかわ 共著                  発行年：2015年                  出版社：幻冬舎 MC</p>	<p>「日本人が知らない日本医療の真実」                  著者：アキよしかわ                  発行年：2010年                  出版社：幻冬舎 MC</p>	<p>「患者思い」の病院が、なぜつぶれるのか?」                  著者：渡辺さちこ                  発行年：2009年                  出版社：幻冬舎 MC</p>
---	--	---	--	---



## トップランナーと創造する医療の未来

<https://www.ghc-j.com/science/>

GHCは国内外のトップランナーとの学術・研究活動や、社会貢献活動、最新の研究を反映させた新規事業構築などにも注力しています。

国内

国内医療機関の事業や研究活動をサポートします。

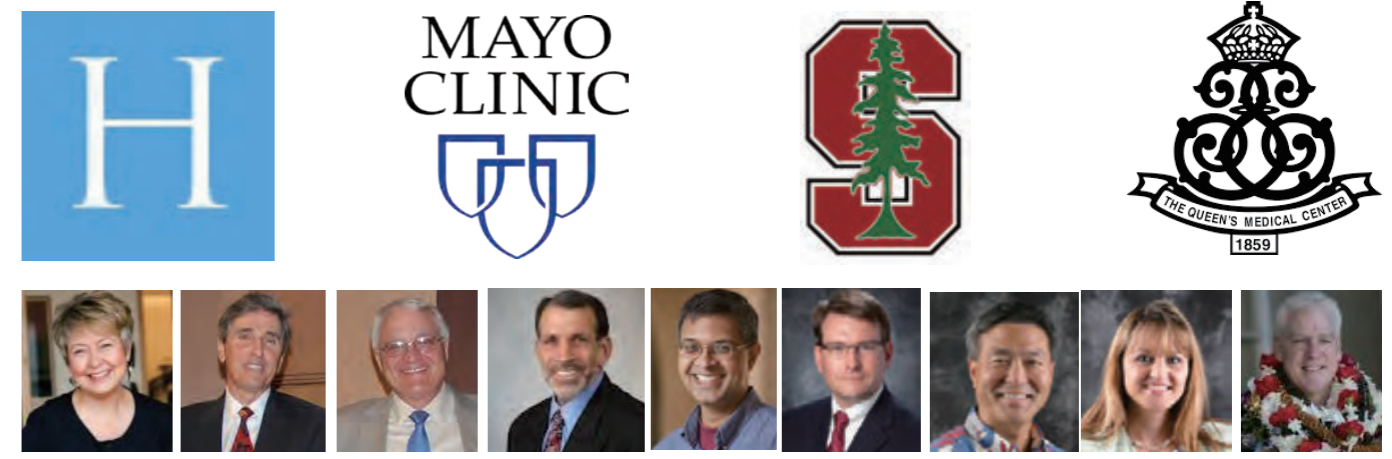
＜一例＞

- 全国のがん診療連携拠点病院が集う「CQI研究会（Cancer Quality Initiative）」
- 回復期医療の研究会「回復期の医療と経営の質向上を考える会」
- 自治体病院によるベンチマーク勉強会（ToCoM<sup>(®)</sup>：東海地区、DoCoM<sup>(®)</sup>：北海道地区、せやCoM<sup>(®)</sup>：大阪地区）  
 ※文中の「CoM」は「コンソーシアム」を表します。



海外

GHCの原点は、医療経済学のメッカ「スタンフォード大学」。GHCは設立当初から、米国の大学やメイヨークリニックなどの医療機関と医療政策の共同研究をはじめ、米国の病院経営を研究し、新規コンサルティングサービスの開発にも役立てています。





## 日本初の病院ベンチマーク分析から始まり、医療制度の先を走り続けた「挑戦と進化」の軌跡

患者にとって価値の高い医療を提供するために、医療現場は何をすべきか——  
創立当初からのこの追求が、国の先行く取り組みや、診療報酬上での評価へとつながりました。



GHCの取り組みと関連が深い医療制度は同色の矢印のアイコンがついています。

### GHCの軌跡

<p>1995</p> <p>アキよしかわが米国グローバルヘルスコンサルティング(米国GHC)設立</p>	<p>2004</p> <p>- 03 March 株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン(GHC-J)設立</p> <p>GLOBAL HEALTH CONSULTING</p> <p>- 05 May 日本初のベンチマークシステム「DAVE」リリース</p> <p>- 10 October 全国社会保険協会連合会との調査研究事業スタート</p>	<p>2006</p> <p>- 08 August DPCベンチマーク分析システム「EVE」リリース(MDV社との共同開発)</p> <p>EVE</p>	<p>2007</p> <p>- 04 April DPCコスト分析システム「コストマトリックス」リリース(MDV社との共同開発)</p> <p>Cost Matrix</p> <p>- 12 December CQI研究会(Cancer Quality Initiative)第1回会合開催</p> <p>CQI Cancer Quality Initiative</p>	<p>2008</p> <p>- 06 June ToCoM(東海地区自治体コンソーシアム)第1回会合開催</p>	<p>2009</p> <p>- 07 July 「看護必要度に関する研究」開始(滋賀医科大学医学部附属病院看護部と共同研究)</p>	<p>2010</p> <p>- 01 January DoCoM(北海道地区自治体病院コンソーシアム)第1回会合開催</p> <p>- 04 April 次世代型経営支援サービス「病院ダッシュボード」をリリース</p> <p>HOSPITAL DASHBOARD</p>	<p>2011</p> <p>- 12 December 内科系学会社会保険連合の「内科系技術についての診療報酬評価に関する提案 Ver.1」に関わる分析協力</p>	<p>2012</p> <p>- 05 May 米国スタンフォード大学と共同研究</p> <p>- 02 February 米国メイヨークリニックと共同研究</p> <p>MAYO CLINIC</p> <p>- 12 December 内科系学会社会保険連合の「内科系技術についての診療報酬評価に関する提案 Ver.1」に関わる分析協力</p>	<p>2013</p> <p>- 02 February 米国メイヨークリニックと共同研究</p> <p>MAYO CLINIC</p> <p>- 12 December 内科系学会社会保険連合の「内科系技術についての診療報酬評価に関する提案 Ver.1」に関わる分析協力</p>	<p>2014</p> <p>- 12 December せやCoM(大阪周辺自治体病院コンソーシアム)第1回会合開催</p>	<p>2015</p> <p>- 02 February クイーンズメディカルセンター研修</p> <p>COVID-19 2020年6月から9月まで新型コロナウイルス感染症が病院経営に及ぼした影響に関する分析を医療機関に無償で提供しました。</p>	<p>2016</p> <p>- 03 March 日本病院会と業務提携し出来高病院向け経営支援レポート「JHAsis」開発</p> <p>JHAsis 2.0</p> <p>- 06 June 「回復期の医療と経営の質向上を考える会」第1回会合開催</p> <p>- 12 December 「病院ダッシュボードX」リリース</p> <p>病院ダッシュボードX</p>	<p>2017</p> <p>- 06 June 「回復期の医療と経営の質向上を考える会」第1回会合開催</p> <p>- 12 December 「病院ダッシュボードX」リリース</p> <p>病院ダッシュボードX</p>	<p>2018</p> <p>- 04 April 「病院ダッシュボードX」がリニューアル(「地域連携分析」リリース)</p>	<p>2019</p> <p>- 08 August 「病院ダッシュボードX」がリニューアル(ソリューション別提供の開始)</p>	<p>2020</p> <p>- 06 June 新型コロナ分析レポートを無償提供</p> <p>- 12 December 『医療崩壊の真実』発刊</p> <p>医療崩壊の真実</p>	<p>2021</p> <p>- 06 June 「病院ダッシュボードX」がリニューアル(「症例Scope」リリース)</p>	<p>2022</p> <p>- 04 April 日本経済新聞社と調査会社スタティスタの共同調査にて、「日本優良コンサルティング会社(2022年経営コンサルティング調査)」を受賞</p> <p>日本優良コンサルティング会社 2022 NIKKEI statista</p> <p>- 12 December 無料分析ツール「病院ダッシュボードX ZERO」リリース</p> <p>病院ダッシュボードX ZERO</p>	<p>2023</p> <p>- 9 September 肺がんの患者団体である一般社団法人アライアンス・フォー・ラング・キャンサーとGHCで初の企業合同セミナーを開催</p>	<p>2024</p> <p>- 03 March 創立20周年を迎える</p>
---	---	--	---	---	---	--	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	---	--	--	--

### GHCの事業と関連が深い医療制度

# Mission

医療と経営の質向上に全知を傾け、  
医療の発展に寄与する

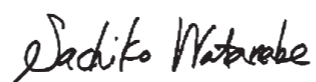
## 病院の良きパートナーとして 「医療の価値」向上を目指します

株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン (GHC) は2024年3月30日をもって、創業20周年を迎えることができました。これもひとえに当社を支えて下さった病院および関連団体・行政、ヘルスケア企業、メディア、社員たちのおかげです。心より感謝申し上げます。

今日までの歩みを振り返ると、医療の現場から、病院を、地域を、そして日本のより良い未来(あした)を創造するため、ひたすらに歩み続けてきた20年でした。

経営コンサルティングの現場では、医療職経験者などで構成されるコンサルタントたちが伴走する「実行支援型」のコンサルティングサービスを提供してきました。医療現場のスタッフたちとともに悩み、汗をかきながらご支援させていただいた病院は、約700病院になります。

株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン  
代表取締役社長 渡辺 幸子



慶應義塾大学経済学部卒、米国ミシガン大学で医療経営学、応用経済学の2つの修士号を取得。  
帰国後、2003年より米国グローバルヘルスコンサルティングのパートナーに就任。  
2004年3月グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンを設立。  
著書に『「患者思い」の病院が、なぜつぶれるのか?』(幻冬舎MC)、  
『日本医療クライシス「2025年問題」へのカウントダウンが始まった!』(幻冬舎MC)、  
『医療崩壊の真実』(エムディエヌコーポレーション)。

# Vision

常に革新的なサービスを開発し、  
国民と地域を守る「ビジョナリー・ホスピタル」の  
進化・発展(Leap)に貢献する

## 本格的な病院大再編時代へ 健全な競争が勝ち残りのカギ握る

創業20周年に際し、すべてのステークホルダーの皆様にご心より感謝申し上げます。

次の20年は、本格的な病院大再編時代へ突入します。1990年代に米国で起こった現象が、ようやく日本でも起こります。これにより、米国では病院が半減しました。日本はどうなるでしょうか。

米国の病院再編・統合は、「医療の価値(質/コスト)」を飛躍的に向上させました。当社のアドバイザーでもあるメイヨークリニックなどの病院は、「コストをいかに抑え、質を下げずに同じ結果を出せるか」という発想の大転換を果たし、病床数を減らしながらも確実に患者を増やしていきました。

米国グローバルヘルスコンサルティング  
会長 アキよしかわ



がんサバイバーの国際医療経済学者、データサイエンティスト。  
10代で単身渡米し、医療経済学を学んだ後、カリフォルニア大学パーカー校とスタンフォード大学で教鞭を執り、スタンフォード大学で医療政策部を設立する。  
米国議会技術評価局(U.S. Office of Technology Assessment)などのアドバイザーを務め、欧米、アジア地域で数多くの病院の経営分析をした後、日本の医療界に「ベンチマーク分析」を広めたことで知られる。近著に『日米がん格差「医療の質」と「コストの経済学」』(講談社)、『医療崩壊の真実』(エムディエヌコーポレーション)。

病院大再編時代を勝ち残るカギは、健全な競争です。経営に関するあらゆるデータをオープンにし、医療と経営の質を高める努力と効率化を推進し続ける病院のみが、病院大再編時代を勝ち残れます。

「医療の価値」向上が勝敗を分ける戦いの幕が上がりました。病院は、医療の価値向上の努力と結果を消費者、つまり患者と患者の家族に対して、積極的に発信することが欠かせません。私たちが当社のサービスと情報発信を通じて、誰もが日本全国どこでも質の高い医療を選べるような世の中を実現したいと考えています。